

ポインタオフィス 講師別カリキュラム案

2026年

■社会人としての心構え研修

◆ねらい : 昨今の若者の大きな特性として、「『なぜ』が理解できれば素直に行動できる」点があります。本研修では、社会人になりたての新入社員に対して「人間として自立して生きていく心の準備」や「社会の成り立ちと自分の役割」、「組織人としての役割」に焦点を絞り、「なぜ働かなくてはならないのか」「なぜ上司・先輩の指示に従わなくてはならないのか」を自分の頭で考え、理解し、組織人として現場で素直に指示を受けながら自己成長できる人材となることを目指します。

◆カリキュラム案

時間	内容	手法
半日	1. <u>生きることと働くこと</u> (1)なぜ働くのか (2)生きる楽しみと苦難、働く楽しみと苦難 (3)楽しみを増やし、苦難を取り除く方法 2. <u>自立と自律、自己成長</u> (1)自立と自律の理解 (2)自立と自律の行動習慣 (3)自分で成長していくために 3. <u>組織の一員として求められること</u> (1)なぜ組織で活動するのか (2)組織で信頼される人になる3原則 (3)組織での役割の変化と順応 4. <u>理想の新入社員像を描く</u> (1)自分にとって理想の社会人とは (2)3年後にどのような社員になっているか (3)理想の新入社員像を描く 5. <u>まとめ</u>	講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク

■新入社員研修

◆ねらい : 多くの企業ではビジネスマナー研修を内製で行うと「うち(内)」の安心感から新入社員のメリハリが付きません。ビジネスマナーを習得させるだけではなく「小さい頃から言われているにも関わらず、できることなのにやっていない」基本的なマナーを研修中にフィードバックすることで自分に対する甘さを認識させます。本研修では社会人として緊張感を持ちながら社内外にいる社会人の先輩と適切な距離感を持って接することができる人材となることを目指します。

◆カリキュラム案

時間	内容	手法
AM	1. ビジネスマナーの基本 (1)なぜビジネスマナーは必要なのか (2)身だしなみ (3)立ち居振る舞い (4)名刺交換 2. 来客対応 (1)来客対応の流れ (2)ご案内のポイント (3)エレベータでの案内 (4)席次	講義 ペアワーク グループワーク 講義 ペアワーク グループワーク
PM	3. 仕事の進め方 (1)職場の心得 ～入社時、工作中、退社時 (2)仕事に取り組む姿勢 (3)仕事の基本的な進め方 (4)PDCAとは (5)報告・連絡・相談・振り返り 4. コミュニケーションを円滑に行うために (1)敬語の種類 (2)間違いやすい敬語表現 (3)知っていると役立つ言葉遣い (4)コミュニケーションのポイント ～同期/上司、社内/社外 5. 電話対応 (1)電話対応の基本 (2)電話の受け方 (3)電話のかけ方 (4)携帯電話のマナー 6. 総合演習 7. まとめ	講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク 講義 ペアワーク グループワーク 個人ワーク グループワーク

■新入社員フォローアップ研修

◆**ねらい** : 配属後、実際に仕事をしてみると研修で学んだことを活かすというよりも目の前の業務に必死になっており人間関係上の悩みも出てきます。多少の失敗を経験して「この仕事を続けていけるのか」「この会社で成長できるのか」「職場の人たちとうまくやっていけるのか」と不安を感じているものです。不安が積み重なる前に早い段階で振り返りの機会を設け、社会人の先輩から悩みに対してコメントをもらうことは定着率を上げるためにも効果的です。本研修では各企業様の新入社員の独自の状況に合わせて企画することで必要なスキル付与やマインドセットを行います。

◆カリキュラム案

時間	内容	手法
AM	1. 配属後の振り返り (1) 配属後、一番印象に残っていることとその理由を共有する (2) 経験学習サイクル (3) 他責と自責 (4) 入社後これまでを振り返る 2. 仕事の進め方を再確認する (1) 配属後行ってきた業務を全て洗い出す (2) 自分の業務が部署全体のどのような位置づけになっているか考える (3) GPDCAの観点で、課題や改善点を確認する	講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク
PM	3. 職場のコミュニケーション (1) コミュニケーションの基本 (2) 今、悩んでいることを共有する 4. 成長のステップ (1) 成長の仕方 (2) 自分にできること、求められていることを見つめる (3) アクションプラン策定 (4) 宣言する 5. まとめ	講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク

■部門間連携強化研修～若手社員向け

◆ねらい :ビジネスモデル上、目立つ仕事と目立たない仕事が存在するのは事実です。本来職種や部門に関わらず全ての仕事が会社にとって重要であり、自分の仕事がどのような内容であっても世の中に価値を提供するために必要です。自分が行っている仕事が会社の中で大切なものである認識を持つことが生産性の向上や定着率の向上、やりがいの醸成に大きな影響を与えます。本研修では、「全ての仕事が営業につながっている」という考え方を基に企業様に合わせてケーススタディを作成・実施し、各職種の仕事が会社の売上や顧客に与える影響、お互いに与える影響などを考え、視座を高めながら部門間連携意識を強化します。

◆カリキュラム案

時間	内容	手法
半日	1. 会社が提供する価値 (1) 自社が提供する価値は何か (2) 自社のビジネスフローを確認する 2. 売上と会社経営の関係 (1) 売上と利益の違い (2) 納期遅延とその影響 (3) 生産途中の設計変更とその影響 (4) クレーム発生とその影響 3. 営業とは (1) 顧客が営業に期待していること (2) 営業職の役割 (3) 非営業職の営業的視点 4 部門関係シミュレーション ～販売した製品にクレームが起きました。どのように部門連携しますか 5. まとめ	講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク 個人ワーク グループワーク